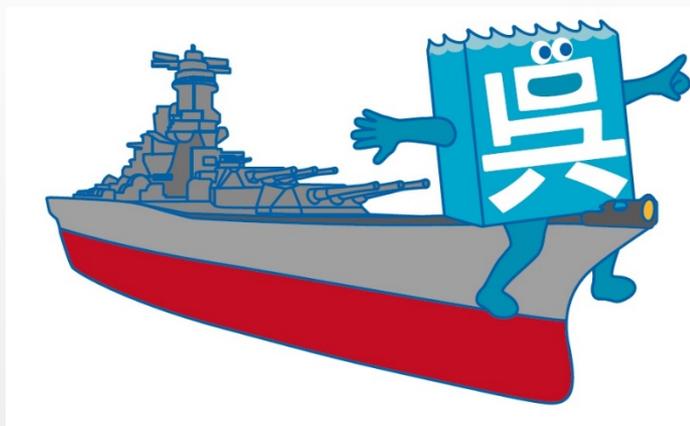


令和元年度 中国ブロックPPP/PFI推進首長会議

呉市の官民連携の取組

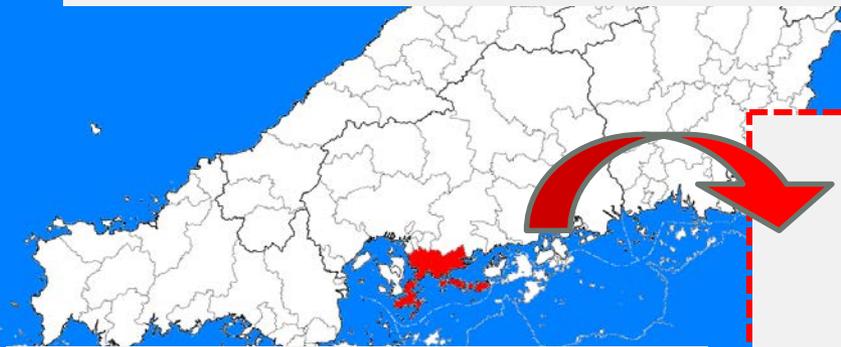


令和2年1月24日

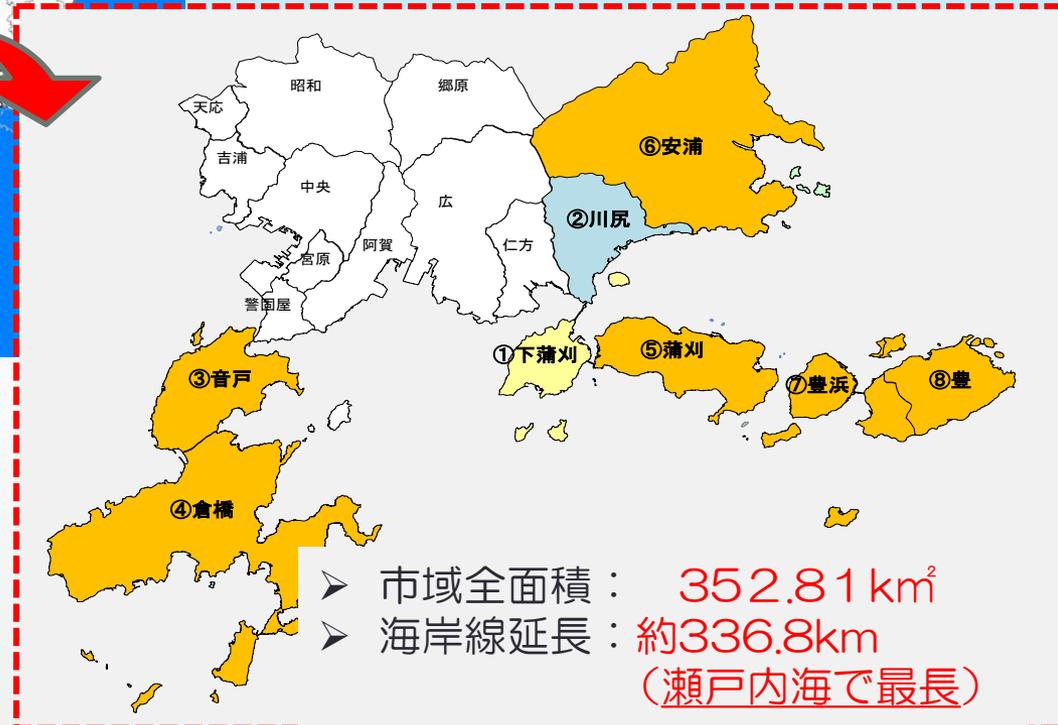
呉市長 新原 芳明

① 呉市の概要

- ▶ 瀬戸内海のほぼ中央部，広島県の南西部に位置し，瀬戸内海に面する陸地部と，倉橋島や安芸灘諸島などの島嶼部で構成



- ▶ 平成15～17年にかけて，近隣8町と合併し，新「呉市」が誕生



【R元年11月末 人口・世帯数】

221,718人・109,742世帯

【令和元年9月末 高齢化率】 34.9%

【H30一般会計歳出総額】 (H30決算カードより)

108,154,049千円

【財政力指数】 (H30決算カードより) 0.61

【財政調整期金】 (H30決算カードより)

524,817千円

②呉鎮守府開庁130周年

令和元年は、呉鎮守府の開庁（明治22年）から130周年の節目を迎えることとなり、記念すべき年に当たります。

近代呉市の発展は、明治19年（1886年）に第二海軍区軍港に指定され、明治22年（1889年）の呉鎮守府の開庁とともに本格的な海軍基地の建設が進められたことに端を発します。

海軍の拡張とともに、工廠しょうや関連施設が次々に建設され、全国各地から人々が集まって市街化が進み、明治35年（1902年）10月1日に市制を施行しました。

その後、最盛期の昭和18年（1943年）には、人口40万人を超える、日本一の海軍工廠を擁するまちとして発展しました。

当時の海軍が築いた水道施設や港湾施設、病院などの都市基盤は、市民生活に欠かせないものとして現在も活用されており、また、市民の生活を豊かにする文化・スポーツ活動も、脈々と受け継がれています。



桜と第1庁舎（写真提供：海上自衛隊呉地方総監部）



本庄水源地



呉海軍基地

③平成30年7月豪雨災害

【人的被害】 R元年12月16日時点

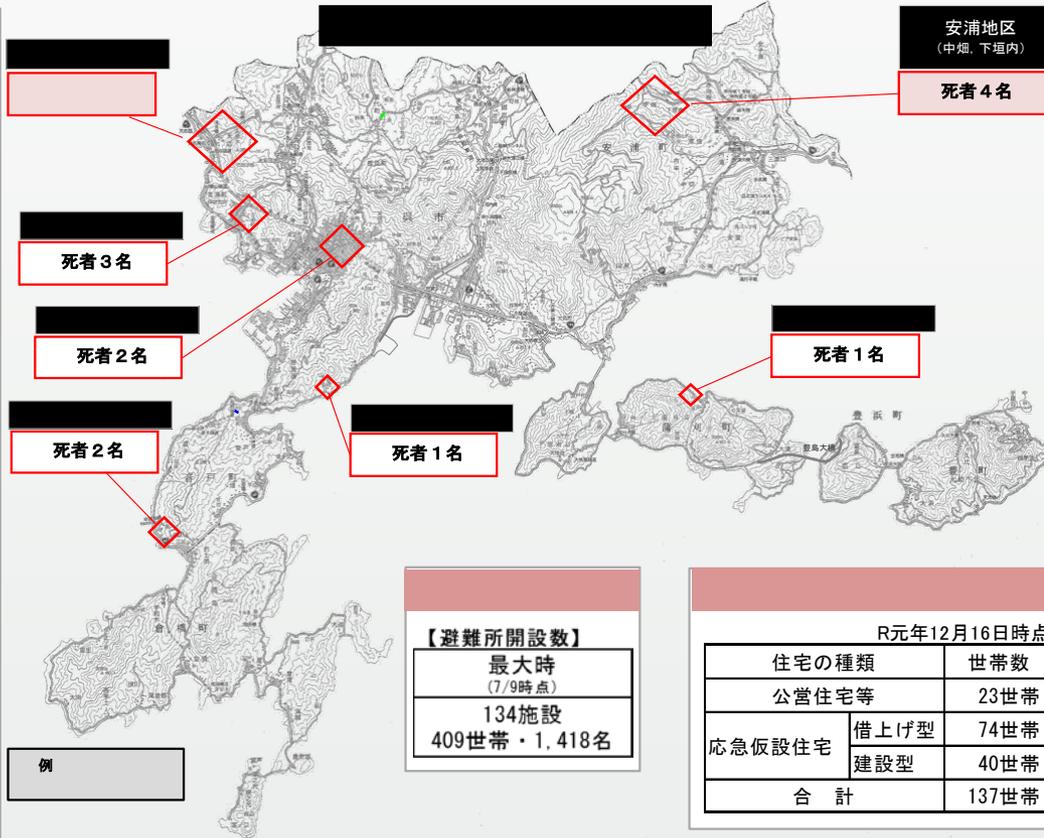
死 者	
28名	直接死 25名 関連死 3名
負 傷 者	
22名	重 傷 5名 軽 傷 17名



【住宅被害】 R元年12月15日時点

全 壊	324 件
大規模半壊	133 件
半 壊	766 件
一部損壊	1,262 件
床下浸水	741 件
合 計	3,226 件

※ 数値は現地調査完了分



安浦地区
(中畑、下垣内)
死者 4名

死者 3名

死者 2名

死者 2名

死者 1名

死者 1名

【避難所開設数】

最大時 (7/9時点)	134施設 409世帯・1,418名
----------------	-----------------------

R元年12月16日時点

住宅の種類	世帯数	
公営住宅等	23世帯	
応急仮設住宅	借上げ型	74世帯
	建設型	40世帯
合 計	137世帯	



④復興に向けて（呉市復興計画）

復興に向けた基本理念と基本方針

【基本理念】

～災害に強い幸せで魅力的な都市を目指して～

- ① 被災者の方々が被災前の当たり前の生活を取り戻すこと
- ② 被災したインフラなどの早期の回復
- ③ 市民や企業が、イキイキ・わくわくと活動することができ、市民が今後も住み続けたいと思えるまち
- ④ 観光客が訪れてみたいと思えるような交流都市

【基本方針】

基本方針1

住まいと暮らしの再建

- ・被災者支援
- ・子ども・子育て支援
- ・廃棄物・土砂処理

基本方針2

災害に強い安全・安心なまちづくり

- ・土木施設等の強靱化
- ・公共施設等の強靱化
- ・上下水道施設の強靱化
- ・交通基盤の強靱化

基本方針3

産業・経済の復興

- ・地域産業の復旧・復興

基本方針4

今後の防災・減災に向けた取組

- ・防災・減災に向けた体制の強化

⑤復興に向けて（令和元年度の動き）



⑥ 呉市の公共施設マネジメントに関する取組

- (1) 呉市公共施設白書を作成 (H23.3, H28.3)
内容……市が保有する公共施設の有効活用のため, 設置状況・
利用状況の実態を調査し公表
- (2) 呉市公共施設再配置計画を策定
(計画期間:H24.6~H30.3)
内容……各施設のあり方などを検討し, 施設の譲与, 転用,
統合, 売却, 廃止等を実施
- (3) 呉市公共施設等総合管理計画を策定 (H28.3)
内容……道路や橋などのインフラを含めたすべての公共施設
等を, 次世代に何をどういう形で残していくかを
長期的なまちづくりの視点で考える

⑦ 呉市のPPP / PFIに関するこれまでの取組

事業名	呉市斎場整備等事業	呉市一般廃棄物最終処分場 整備等事業
事業期間	平成16年3月8日～平成38年3月31日（約22年間）	平成23年7月4日～平成44年3月31日（約21年間）
供用開始	平成18年4月1日～（20年間）	平成27年4月1日～（17年間）
事業方式	BTO方式（PFIの一類型） Build-Transfer-Operate	DBO方式（公設民営方式） Design-Build-Operate
契約相手方	S P C：P F I 呉斎場株式会社（大林組、宮本工業所、合人社計 画研究所、塩見）	大成建設、クボタ環境サービス、エイト日本技術開発、大貴建設 S P C：エコロジーくれ
契約金額	4,519,545,000円	5,755,155,478円
選定方式	総合評価一般競争入札	公募型プロポーザル方式
主要施設等	火葬炉10基 汚物炉1基、動物炉1基 告別室（3室）等	クローズド型最終処分場 202,500m ³

⑧その他のPPP／PFIに関する取組

(1) クリーンセンターくれ 長期包括的管理運営事業

期間：平成26年4月1日～平成40年3月31日（14年間）

契約相手方：SPC：呉環境サービス株式会社

(2) 指定管理者制度

平成18年1月に「呉市指定管理者制度移行計画」を策定し、制度を導入することにより効率的な運営と経費の縮減が見込める施設やサービスの向上が期待できる施設について、積極的に制度導入を図った。

導入施設数（H31.4.1現在）：264施設

(3) ネーミングライツ

着実な復興を図るための財源確保を目的として、公共施設のネーミングライツを導入した。

導入施設数（H31.4.1現在）：10施設



ネーミングライツ

施設の新しい
愛称が決定しました。

- 1 日鉄日新製鋼アクアパーク
(呉市宮プール(隣接多目的広場含む))



- 2 鶴岡一人記念球場
(呉市二河野球場)



- 3 鶴岡一人記念スポーツ会館
(呉市スポーツ会館)



- 4 IHIアリーナ呉
(呉市体育館)



- 10 新日本造機ホール
(呉市民ホール(くわ製機ホール))



- 9 ミットヨ スポーツパーク郷展
(呉市総合スポーツセンター)



- 8 シシヨー オークアリーナ
(呉市総合体育館(オークアリーナ))



- 7 コテージ梶ヶ浜
ビルックスライドステーション
(コテージ梶ヶ浜)



- 5 国際ソロプチミスト呉広場
(シビックモール)



- 6 呉信用金庫ホール
(呉市文化ホール)



⑨ 呉駅周辺地域総合開発 ～ 先導的官民連携支援事業を活用した取組 ～

(1) 呉駅周辺地域の課題

そごう跡地の活用

- ・ 駅前そごう呉店跡地の再生



公共空間の利活用

- ・ 広場や市民の活動拠点がない
- ・ 公共施設・公共財産の有効活用



呉市全域での課題

- ・ 人口減少・少子高齢化の進行
- ・ 市内に長時間滞在する観光客が少ない
- ・ 災害時の防災拠点整備の必要性



駅前広場の再整備

- ・ 老朽化に加え、一般車が進入できない交通広場
- ・ 駅・広場への寄付きが困難な駅周辺の道路
- ・ 広域・路線バス利用者の利便施設がない



駅周辺の歩行者動線が不便

- ・ 南側からは回り込みが必要な駅へのアクセス動線
- ・ バリアフリーが部分的な駅へのアクセス動線
- ・ 既存の駅横断ルートは使用可能時間が限定的

⑨呉駅周辺地域総合開発

(2) 先導的官民連携支援事業 + 呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会 (平成30年度)

呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会

■ 委員

氏名	役職等	備考
羽藤 英二	東京大学大学院工学系研究科教授	座長
塚井 誠人	広島大学大学院工学研究科准教授	副座長
鈴木 克宗	一般財団法人道路新産業開発機構理事	
安藤 恒次 (杉藤 崇)	独立行政法人都市再生機構理事	

※ 杉藤委員：平成30年5月～7月

再開発や駅前広場整備など国の第一線で活躍されている有識者の方々に構成する懇談会を設置

■ オブザーバー

氏名	役職等
富裡 篤英	国土交通省中国地方整備局企画部長
田井中 靖久	国土交通省中国地方整備局建政部長
福田 敬大	国土交通省中国地方整備局道路部長
植田 雅俊	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所長

先導的官民連携支援事業 (国土交通省補助事業) 【官民連携導入調査】

■ 調査先の抽出

複合施設開発を想定し、総合デベロッパーを抽出してアンケートを送付

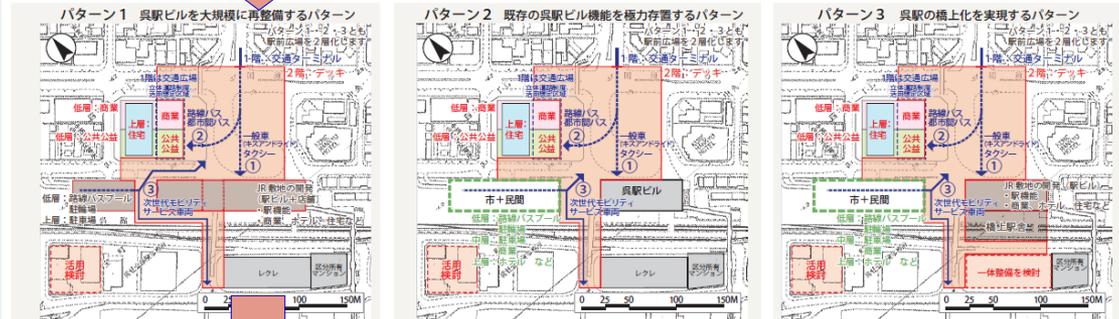
■ 具体性のある質問内容

- ・住宅、商業、宿泊、業務など機能の市場ニーズ
- ・各種用途への参画形態
- ・概算の規模、取得単価、床単価等
- ・駐車場の形式、規模、必要台数
- ・併行して整備が望ましい公共施設

初動期において、従来のサウンディング以上に具体的な調査結果を収集

ゾーニングの検討

アンケートの結果分析及び懇談会での有識者の意見を基にゾーニング(案)を検討



呉駅周辺地域総合開発に関する提言書 (平成31年3月27日)

⑨呉駅周辺地域総合開発

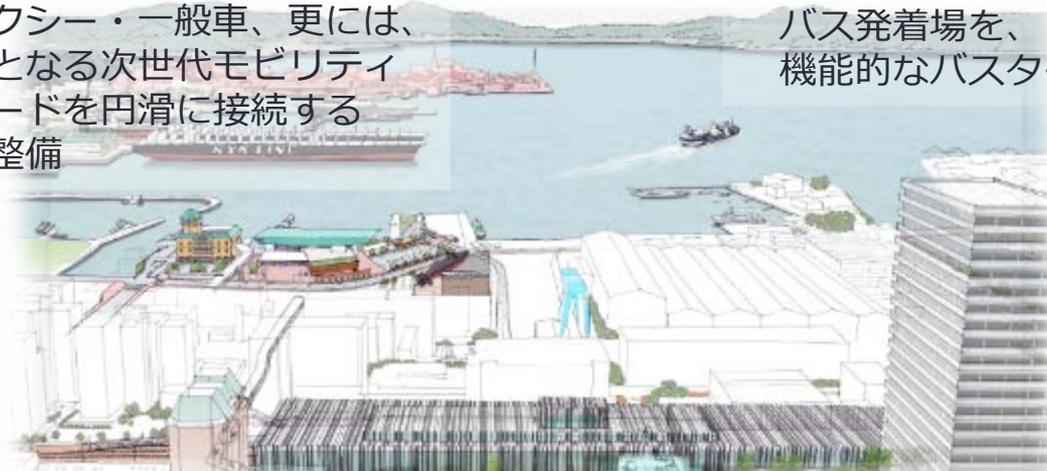
(3) 呉駅周辺地域総合開発に関する提言書

■複数の交通モードが結節する総合交通拠点

- ・ 駅、港、国道が近接した立地優位性を生かし、鉄道・船・バス・タクシー・一般車、更には、将来の交通体系の軸となる次世代モビリティを含む複数の交通モードを円滑に接続する総合交通拠点として整備

■機能的なバスターミナル

- ・ 立体道路制度を活用し、複合施設1階にバス発着場を、2階に待合所を配置した機能的なバスターミナルの整備



■ゆとりと賑わいの広場

- ・ 2層デッキを整備し、市民・観光客がまったりと時間を過ごせる憩いの広場を整備
- ・ 広場空間のイベント活用により賑わいを創出



■災害時の地域防災拠点

- ・ 災害時には、駅利用者等の一時避難場所、臨時輸送バスの発着点としても機能する防災拠点の整備



■スマートシティ実現に向けた拠点

- ・ 次世代モビリティやMaaSなど新技術を先導的に導入。スマートシティの実現に向けた横展開の拠点として整備

⑨呉駅周辺地域総合開発

(4) 呉駅周辺地域総合開発基本計画の策定に向けた検討 (令和元年度)

呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会

氏名	役職等	備考
羽藤 英二	東京大学大学院工学系研究科教授	座長
塚井 誠人	広島大学大学院工学研究科准教授	副座長
神田 佑亮	呉工業高等専門学校教授	
鈴木 克宗	一般財団法人道路新産業開発機構理事	
飯田 稔督	J R西日本広島支社副支社長	
仮井 康裕	広島電鉄株式会社取締役交通政策本部長	
火岡 潤哉	一般社団法人広島県タクシー協会呉支部長	
浅田 宏	呉駅前西再開発ビル管理組合代表 (株式会社そごう・西武施設部付部長)	
三戸 正宏	J A呉代表理事組合長	
村上 威夫	国土交通省中国地方整備局建政部長	
松浦 利之	国土交通省中国地方整備局道路部長	
荻野 宏之	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所長	
河合 智明	独立行政法人都市再生機構西日本支社副支社長	
來山 哲	広島県地域政策局地域振興部長	
的場 弘明	広島県土木建築局建築技術部長	

交通事業者、地権者などのステークホルダーを加え、基本計画策定に向けた検討会を設置

対話型ニーズ調査

前年度の「官民連携導入調査」に引き続き、ホームページ等により参加者を募集し、「対話型ニーズ調査」を実施

- 参加事業者 18社
- 調査方法 対面型聞き取り調査
(随時、書面アンケート等を併用)
- 調査内容
 - ・ 事業範囲
 - ・ 用途、規模等の詳細
 - ・ 事業手法
 - ・ その他事業化に向けての課題など

前年度の調査を発展させ、提案・ヒアリングを含めた「対話型ニーズ調査」を実施中

事業化に向けた今後の展望

2019年度

- ・ 調査結果を活用した基本計画の策定
(概略計画の検討、公募条件の検討など)

2020年度～

- ・ 開発事業者の選定
- ・ 実施計画の検討

- ・ 設計業務
- ・ 実施計画策定

